

令和2年度シラバス (地理歴史)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	地理歴史 (世界史A)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	東京書籍『世界史A』				
副教材等	山川出版社『詳説世界史B』、第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』、山川出版社『新版世界史B マスター問題集』				

1 学習目標

世界史の学習において必要とされる普遍的かつ国際的な視野を養う。また公民の知識と歴史の知識を融合させながら学習することで、広い視野に立って考察を深め、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ① 現代世界の諸問題を政治・経済・社会的視点から把握するとともに、現代世界が当面する課題について追究させる。
- ② さまざまな資料を用いて学習することで、現代世界の成り立ちを歴史的観点から探究する態度を育成する。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	民主主義の形成と現代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアの民主政</li> <li>・社会契約説と市民革命</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアの民主政を通して、現代の民主政治の意義と課題等を考察する。</li> <li>・市民革命前後のヨーロッパ世界の歴史状況に関する認識を深めることで、ホッブズ・ロック・ルソー等の思想の特質と限界を考察する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・課題考査</li> <li>・評価シート</li> </ul>
5 6	近代国家と民族問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民国家の成立</li> <li>・国民国家と民族問題</li> <li>・現代の民族問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀の欧米における近代国家形成の過程を通して、現代世界における国家の特質と役割、課題等について考察する。</li> <li>・第一次世界大戦の原因や変遷、ヴェルサイユ体制の成立をたどりながら、国民国家形成の過程で、抑圧されていた民族問題を追究する。</li> <li>・冷戦終結後の世界の動きを取り上げながら、現代の民族問題の歴史的背景を考察する。</li> </ul>	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> <li>・評価シート</li> </ul>
7 8 9	イスラムと現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラム教とは何か</li> <li>・パレスチナ問題</li> <li>・イスラム原理主義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムハンマドの生きた時代を、国際関係・社会体制・政治体制の諸側面から考察し、イスラム教の思想的特質を追究する。</li> <li>・イスラム諸派の思想を理解する。</li> <li>・パレスチナ問題を政治・外交・経済・宗教の諸側面から歴史的に考察する。</li> <li>・イスラム原理主義の思想、イスラム社会に一定の影響をもつ理由を、第二次世界大戦後の中東史を軸に考察する。</li> </ul>	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> <li>・課題考査</li> <li>・評価シート</li> </ul>
10 11	ロシア革命とファシズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の社会主義革命としてのロシア革命</li> <li>・ファシズムの誕生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会主義とファシズムという2つの全体主義国家が、第一次大戦後に生まれた理由を、政治・外交・経済的側面から考察する。</li> <li>・第二次世界大戦の性格と経過を理解させ、大戦が戦後の新たな国際関係の枠組み形成に与えた影響を考察する。</li> </ul>	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> <li>・評価シート</li> </ul>

12 1	植民地と現代世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義の進展と帝国主義</li> <li>南北問題と南南問題</li> <li>開発独裁と民主化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義が世界の一体化をもたらした過程について、経済史的観点から考察する。</li> <li>戦後のアフリカ諸国の動向を多角的に取り上げることで、南半球の新たな格差問題の政治的・経済的・社会的背景を追究する。</li> <li>韓国・中国など東アジアの戦後史を軸に、経済発展と民主化の関係を考察する。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物</li> <li>課題考査</li> <li>評価シート</li> </ul>
2	歴史を見る眼・世界を見る眼	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化</li> <li>多様性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦終結後の経済のグローバル化、地域統合の動き、地域紛争など、現代世界の新たな動向を把握する。</li> <li>冷戦終結後の国際秩序の変化を理解させ、世界の人々と多様性を認め合いつつ共生していく方向性などについて考察する。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物</li> <li>定期考査</li> <li>評価シート</li> </ul>
3	〔課題研究〕 現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域統合</li> <li>地域紛争</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の特質やわれわれが直面している諸課題のなかから、自らが関心をもったテーマを設定し、さまざまな資料を活用しながら、主体的に考察する。冷戦終結後の経済のグローバル化、地域統合の動き、地域紛争など、現代世界の動向を把握する。</li> <li>冷戦終結後の国際秩序の変化を理解させ、世界の人々と多様性を認め合いつつ共生していく方向性などについて考察する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物</li> <li>評価シート</li> </ul>

計 70 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

・週末課題として、その週に学習した内容を「新版世界史 B マスター問題集」で復習。課題ノートに行い、週明けに提出。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 <span>の</span> 技能	知識・理解
日々の生活と学習のなかから、現代世界に対する関心と課題意識を高め、その歴史的背景を意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	現代世界の課題を、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	現代世界についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	現代世界を理解するために必要な歴史的・公民的知識を身に付け、現代世界をよりよく、鋭く洞察している。
以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査と課題考査</li> <li>週末課題、夏休み課題、冬休み課題等の提出物</li> </ul> などから、総合的に評価します。			

#### 6 担当者からの一言

「世界史」というと、覚えることが多く、つまらない科目というイメージがあるかもしれません。覚えることは多いですが、世界史に登場する単語には「意味」があります。単語の意味を理解し、個々の歴史的事実の因果関係（いわゆる歴史の「流れ」）が分かってくるようになれば、だんだんと面白いものになってくると思います。

現代世界の諸課題を理解するためにも重要な科目です。一緒に頑張りましょう。

(担当：長岡)